

青少年育成だより

発行 塩尻市青少年育成センター
電話 52-0894



7月の活動日誌から ～各地区の活動紹介～



7月1日(水) 大門

塩尻駅前にて「青少年の被害・非行防止全国強調月間」「社会を明るくする運動強調月間」に伴う啓発活動を実施した。スーツでの参加者も多かったが、もう少しラフな服装でもよいのではないかと感じた。7時50分あたりから、高校生を中心にたくさんの駅利用者があったため、開始時間を10分程遅らせてもよいかもしれない。



7月1日(水) 広丘(啓発活動)

関係者が集合しての開始の会、7時30分頃に西口は一番通勤・通学する方が多く配布ロスが出た。関係者の挨拶は閉会時でもよいのでは。



配布物が2種類あったがどちらを誰に配るのが適切で効果的なのかわからない。

社会を明るくする運動→通勤してくる大人に「おはようございます。よろしくお願いします。」と、青少年の啓発→通学してくる中・高校生には「おはよう、行ってらっしゃい」と声をかけながら配布。開始前に関係者で声掛け練習をしてはどうか。

終了後に意見集約をして次回に生かすことが重要。「やること」は手段で、目的は「青少年の健全育成が上手く進んで成果が見える」こと

7月1日(水) 広丘(通学路見守り)

広丘小学校周辺交差点での下校時の見守り・声かけ活動を行いました。当日は6名が参加。3組に分かれて活動を行いました。高学年になるにつれ、交差点での一旦停止、左右確認などが疎かになる傾向が見られ、一度立ち止まって車が来ないか確認してから渡るようその都度声をかけました。学校ではプール学習が始まったようで、「今日のプール楽しかったよ!」と教えてくれ、学校での楽しい活動が伝わってきました。

7月15日(水) 宗賀・洗馬

7月の強調月間に伴う活動として、塩尻西部中学校で啓発活動を行った。啓発パンフレットの入ったポケットティッシュを下校する生徒へ配布すると、ほとんどの生徒が「ありがとうございます」「さようなら」と元気なあいさつをしてくれ、ポケットティッシュも受け取ってくれた。暑い時間帯の下校にもかかわらず、元気に下校していく姿が見られて良かった。その後、宗賀小、洗馬小も同じ時間帯の下校だったため、青パトで通学路の巡回を行った。歩道の狭い場所では、一年生の後ろに高学年児童がついて、一列に並んで歩く姿が見られ感心した。

7月17日(水) 塩尻東

今日は、塩尻中学校であいさつ運動を兼ねて啓発活動を行った。15時30分からの一般下校と部活動終了後の下校時に分かれて実施。午後から雨予報だったが、活動中天気はもったものの、非常に蒸し暑かった。ポケットティッシュを渡ししながら「パンフレットも読んでね」と声をかけると、早速開いてくれる生徒もいた。



7月22日(水) 吉田

今日は、吉田小学校で下校時間帯の通学路の見守りを行った。朝から猛暑日予報が出ていたため、ファン付きベストやネッククーラーなど各自暑さ対策をして参加。子どもたちが昇降口から出てきてから各配置につく。翌日が1学期の終業式ということもあり、大きな荷物を抱えて帰る児童や、朝顔をもち帰る保護者の姿があり、夏休みに向けた準備が始まっていると感じた。信号機のある交差点では、信号が点滅しだすと子どもたちはみんな止まって待っていた。大人はつい急いで渡ろうとしてしまいがちだが、交通安全教室など学校からの指導をしっかり守れていると感じた。



夏休みネット安全教室開催

塩尻市青少年育成センターでは、情報社会がますます進展する中で、子どもたちのインターネット使用時間の増加とそれに伴うトラブルを未然に防ぐことを目的としてネット安全教室を開催しました。この講座は、NTT 東日本の方を講師に、夏休み中に各地区公民館で行われる学習広場の時間を利用して、インターネットを使用する上での注意事項などを学びます。7/29(水)に塩尻東公民館で行われた講座では、児童約40人がクイズに答えたり、動画を視聴したりしながら学習しました。



夏休みに入り、家庭で過ごす時間が長くなると、ゲームやインターネットを使用する時間が長くなることが予想されます。そういった中で、子どもたちが自分で注意しなくてはならない点や、家庭でのルール作りの重要性について説明がありました。

○インターネットのコミュニケーションマナー○

- ・誰とでもコミュニケーションがとれる SNS。相手が見えないからこそやりとりは丁寧に
- ・ネットいじめは絶対にダメ
- ・すべての情報を信じてはいけない
- ・困ったことが起きたら家族や先生など大人に相談する



使ってみよう！作ってみよう！ 公衆電話

7月31日(金)塩尻総合文化センターで、青少年健全育成講座「使ってみよう！作ってみよう！公衆電話」を開催しました。この講座は、夏休みサマースクール公民館の1コマを借りて、市内の小学生、中学生を対象に、普段見かけることや使うことが少なくなった公衆電話のかけ方を学ぶ講座です。当日は、20名の子どもたちと保護者3名が参加し、日本公衆電話会長野支部の方を講師に、本物の電話機を使って緊急通報のかけ方を一人ずつ練習しました。スマートフォンの所持年齢が年々増加するとともに、公衆電話の利用率は減少してい

ます。7月28日に発生した熊本地震では、通信障害でスマートフォンが利用できない、また停電により充電ができないという状況が起きています。

公衆電話は、硬貨やテレホンカードがなくても緊急通報ができるので、緊急時や災害時に備え、公衆電話の設置場所を把握しておくことも大事とのことでし



た。使い方を学んだ後は、工作キットで一人一台電話機を作りました。今回は、青少年育成委員の方々が工作のサポートをしてくださり、細かい作業に苦戦しながらも、子どもたちは完成した電話を使って早速かけ方の練習をする姿が見られました。



公衆電話から緊急通報をする場合

- ① 受話器を上げる
- ② 赤い緊急通報ボタンを押す
- ③ 番号(警察110や消防・救急119)を押す
硬貨やカードは不要です

赤い緊急通報ボタンがない公衆電話の場合

- ①受話器を上げる
- ②110または119をダイヤルする(海での事故は118)

【8月の地区別活動予定】

8/7(金)	高出	ゲームセンター等の巡回
8/21(金)	片丘	ゲームセンター等の巡回
8/25(火)	広丘	広丘小通学路見守り
8/26(水)	大門	西小通学路見守り
8/31(金)	吉田	吉田小通学路見守り

塩尻市役所 交流文化部 社会教育スポーツ課
社会教育係

電 話：0263-52-0894

F A X：0263-53-7604

窓 口：塩尻総合文化センター1階 総合受付

担 当：林、上條